

平成 20 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェーシー・コムサ
 代 表 者 代表取締役社長 和 田 隆 介
 (コード番号 2876)
 問合せ先 責任者役職名 専務取締役
 氏 名 野 田 忠 克
 電話 03-5722-7261(代表)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年8月12日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

平成21年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 20 年 8 月 12 日 発 表)	百万円 7,700	百万円 230	百万円 190	百万円 120	円 銭 15 07
今回修正予想(B)	7,839	457	358	142	17 84
増減額(B-A)	139	227	168	22	—
増 減 率	1.8%	98.7%	88.4%	18.3%	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月 期 中 間 期)	8,041	211	129	135	17 07

平成21年3月期通期の連結業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想(A) (平成 20 年 8 月 12 日 発 表)	百万円 16,000	百万円 440	百万円 230	百万円 130	円 銭 16 33
今回修正予想(B)	15,900	700	550	240	30 15
増減額(B-A)	△100	260	320	110	—
増 減 率	△0.6%	59.1%	139.1%	84.6%	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月 期)	16,355	557	367	230	29 01

平成21年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年8月12日発表)	百万円 6,300	百万円 180	百万円 150	百万円 100	円 銭 12 56
今回修正予想(B)	6,517	397	377	171	21 50
増減額(B-A)	217	217	227	71	—
増減率	3.4%	120.6%	151.3%	71.0%	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期中間期)	6,715	144	88	100	12 65

平成21年3月期通期の個別業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年8月12日発表)	百万円 12,900	百万円 310	百万円 200	百万円 110	円 銭 13 82
今回修正予想(B)	12,900	600	540	240	30 15
増減額(B-A)	0	290	340	130	—
増減率	—	93.5%	170.0%	118.2%	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,682	422	295	218	27 39

2. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

(個別)

第2四半期累計期間の個別業績は、売上高はピザ関連事業において前回予想を190百万円上回るなど順調に推移いたしました。またピザ関連事業と外食事業の中核部門で原材料価格や食材原価の値上がりについてその影響を最小限に抑え、利益の薄い販売アイテムを引き続き整理することで当社全体の売上総利益率を1.7%引き上げることができました。さらに販売直接費(運送費・保管費)等の経費コントロールを進めました。以上により営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回発表予想に対し大幅に上回る見込みであります。

(連結)

連結業績予想の修正は、主に個別業績予想の修正によるものでありますが、経常利益と四半期純利益につきましては、持分法適用会社の赤字幅の増加を見込んでおります。

(2) 通期

(個別)

通期の個別業績は、引き続き経済情勢は不透明感が強く、個人消費の引き締めが強まると予想されますが、第2四半期累計期間の業績動向を踏まえ、またこれからのクリスマスなど年末催事による需要の拡大などに従って利益率の高い製品の売上げが見込まれることで前回発表予想の利益を上回る見通しであります。なお、税効果会計を適用していないため法人税等調整額は計上しておりません。

(連結)

連結業績予想の修正は、個別業績予想の修正に伴うものであります。

3. 特別損失の発生及びその理由(個別・連結)

当社は平成21年3月期第2四半期連結累計期間において、遊休資産(大仁工場)の減損損失61百万円を特別損失に計上する見込みであります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであ

り、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上